

## R2 地域こん談会まとめ

番号	自治会名	要望事項	要望事項（文書回答）の回答内容	回答者	取組状況	取組状況の説明事項
1	東本梅町 自治会	<p>地元ボランティアにより、登山道周辺の植樹、景観を説明するパネルの設置など、整備を進めている。更に、強い市の支援を要望します。また、大雨等により荒れた登山道の早期復旧を要望します。</p>	<p>市内に複数あるハイキングコースは、自然豊かで歴史的資産を数多く有する本市の特徴的な観光資源であり、登山愛好家のみならず気軽に里山を散策する観光客にも人気があります。</p> <p>この観光資源を維持するため、定期的なコースの巡回やごみ清掃、枝打ち等の軽微な山道維持を（一社）亀岡市観光協会と連携して実施しているところです。</p> <p>また、平素より地域の皆さまには、地元ハイキングコースの整備等にご尽力いただいておりますことに感謝申し上げます。</p> <p>市としても、（一社）亀岡市観光協会と連携して市内の各コースを定期的に巡回し、倒木整理や道をならす等安全な通行の確保に努めているところです。</p> <p>市内ハイキングコースでは、梅雨による長雨や台風等により、倒木や看板の破損などが毎年発生しています。とりわけ、平成30年の西日本豪雨や台風21号による市内ハイキングコースの被害は甚大であり、当コースについても非常に厳しい状況であることは認識しております。観光協会と連携による整備作業は限られた人員・予算で行っておりますことから、損傷の状態などから優先順位をつけて、作業員の安全を確保しつつ進めることといたしております。</p> <p>今後も、順次にはなりますが、地域の皆さまとも連携をさせていただきながら整備を進めてまいりたいと考えていますので、ご理解とご協力をお願いいたします。</p>	産業観光部 長	⑥その他	文書回答のとおりです。

R2 地域こん談会まとめ

番号	自治会名	要望事項	要望事項（文書回答）の回答内容	回答者	取組状況	取組状況の説明事項
2	東本梅町自治会	府道宮前千歳線「とこなげ工区」バイパスの早期完成について 当該府道は町民の生活道路であり、工事区間は在来道路が狭隘で離合が困難であることや緊急時輸送道路としての観点からも早期の完成を要望します。	府道宮前千歳線は、国道372号や国道477号から京都縦貫自動車道や国道9号にアクセスし、京阪神都市圏と京都府中部地域を結ぶ幹線道路となっておりますが、ご指摘のとおり千代川町北ノ庄地内においては、幅員狭小で線形不良のため通行の安全に支障を来している状況です。 このため、当該路線を管理しています京都府によりまして、平成21年度から2車線のバイパス整備事業が実施されており、平成24年度には築造工事に着手されたところですが、現在のところ具体的な完成予定時期は示されておりませんが、順次、工事進捗等に努めていただいているところです。 また、今年度につきましては、残る主要構造物である橋梁の下部工(右岸橋台)と、護岸工事の実施を予定されており、来年度以降も継続して事業進捗を図られると聞いているところですが、本市としましても、改めて早期事業完成に向け、京都府に対しまして要望してまいりたいと考えております。	まちづくり推進部事業担当部長	④要望	文書回答のとおりです。
3	東本梅町自治会	本梅川の治水対策について 近年の天候異変による台風、大雨等が以前に増して頻繁に猛威を振るっている状況ですが、そのことにより本梅川沿いの田畑が度々浸水し農作物被害が発生しております。度重なる浸水に苦慮、また新規就農者も将来的に一定見込める地域であると予想されることもあり、河道拡幅等の治水対策を施し浸水被害を少なくする対策をお願いします。	一級河川本梅川につきましては、今回のご要望と同様に平成26年度において、地元から京都府南丹土木事務所へ治水対策についての要望がなされております。このことから、京都府によりまして、土砂浚渫及び堤防の不陸整正など短期的ではありますが一定対応されてきたところです。 つきましては、引き続き府民協働型インフラ保全事業等をご活用いただき局部的な改良や治水上の支障となる体積土砂の除去、堤防除草等の提案をしていただければ、本市としても積極的に実施いただくよう京都府へ働きかけたいと考えております。	まちづくり推進部事業担当部長	⑥その他	文書回答のとおりです。

## R2 地域こん談会まとめ

番号	自治会名	要望事項	要望事項（文書回答）の回答内容	回答者	取組状況	取組状況の説明事項
4	東本梅町 自治会	Ⅱ 安全・安心について 消防分署の早期実現	<p>消防署所の配置については、亀岡市、南丹市及び京丹波町の2市1町で構成される京都中部広域消防組合で協議し、決定されているところです。現在、各地における消防署所の配置状況は、亀岡市2ヶ所（亀岡消防署本署、東分署）、南丹市4ヶ所（園部消防署本署、八木出張所、日吉出張所、美山出張所）、京丹波町に1ヶ所（丹波出張所）の計7署所が配置されています。</p> <p>消防署所の配置基準は、消防力の整備指針（平成12年消防庁告示 H26.10.31改正）により、目安が示されています。</p> <p>同指針によると、「市街地の人口1万人～3万人に対して1署所」、（中略）、「7万人～10万人に対して3署所」「11万人～14万人に対して4署所」であり、地域の地勢、道路事情、建築物の構造、その他の諸事情を勘案した数とされています。</p> <p>京都中部広域消防組合の管内は、2市1町という広域な面積を管轄しているため、緊急車両の到着に時間を要することや新たな署所を設置することについては、京都中部広域消防組合と消防組合を構成する市町全体の負担となることから、人口分布状況や各市町の財源事情等を亀岡市西部地区だけでなく、南丹市を含む周辺エリアの人口動態等を総合的に判断しなければなりません。</p> <p>亀岡市としましては、西部地区において、出張所等の設置を要望される声が多いことを充分承知しており、市域全体のバランスを考えた場合や救急出動の増加、災害の多様化など、消防署所設置の必要性については認識しており、検討の機会を失わないようにしております。現在、京都中部広域消防組合全体の消防力強化についての協議を進めており、その中でも西部地域への消防拠点施設の必要性について要望しているところです。</p> <p>今後につきましても、消防署所の設置について、現在進めております京都中部広域消防組合全体の消防力の強化の中で、検討していただくよう働きかけていきたいと考えておりますので、地域のみなさまにおかれましては、ご理解、ご協力をよろしく願います。</p> <p>なお、火災や救急などの災害対応については、町民の皆さまを対象にした消火器や消火栓取扱訓練を実施するとともに、AEDを使用した救急講習会を開催することにより、災害発生時における被害の軽減や救命率の向上に努めていただきますようお願いいたします。</p>	総務部長	⑥その他	文書回答のとおりです。

R2 地域こん談会まとめ

番号	自治会名	要望事項	要望事項（文書回答）の回答内容	回答者	取組状況	取組状況の説明事項
5	東本梅町 自治会	<p>青野小学校通学路の安全確保</p> <p>① 通学路のグリーンベルト設置 ・赤熊ロードパークから大内までの区間の道路へのグリーンベルトの設置を要望します。</p> <p>③ 通学路の除草作業 ・道路際(山間)の樹木の剪定を要望します。(定期的)</p>	<p>①通学路の安全対策については地元自治会をはじめ各関係機関と連携を図りながら対応を考えていきます。 交通安全施設については市内各所から数多くの要望をいただいております、一度に要望にこたえていくことが難しいことから、車両通行や歩行者通行に危険があるなど緊急性の高い箇所や自治会で優先順位が高い箇所から実施しています。 松熊区から赤熊区を結ぶ市道赤熊青野線について、現況の道路幅員が一定でなく、一部狭隘であることより、カラー化を行う路肩の確保が困難であります、通学路の安全対策として路面標示など可能な対策を検討したいと考えています。</p> <p>②市道や法定外公共物につきましては、どの地域におきましても地元において日常管理をお願いしており、当該路線におかれましても年2回の作業をしていただきありがとうございます。 実情につきましては十分理解しており、市全体での課題であると認識しておりますが、現在、どの地域も同様にお世話になっておりますので、引き続きご協力をお願いします。</p>	まちづくり推進部事業担当部長	①:③検討 ②:⑤困難	①文書回答のとおりです。 ②文書回答のとおりです。

R2 地域こん談会まとめ

番号	自治会名	要望事項	要望事項（文書回答）の回答内容	回答者	取組状況	取組状況の説明事項
6	東本梅町自治会	青野小学校通学路の安全確保 ②通学路の安全パトロールの実施	<p>通学路については、学校長が校内の交通事情等を把握し通学路として指定しており、定期的に通学路を点検し安全確保に努めることを基本としています。</p> <p>また、本市では、通学路の交通安全を確保・向上していくため、「亀岡市通学路交通安全対策プログラム」を策定し、その中で亀岡市通学路交通安全推進会議を設置しています。</p> <p>同会議では亀岡市の道路関係、総務関係、教育委員会の3者が一次機関としてプログラムを運用することとしており、国道事務所や南丹土木事務所、亀岡警察署を二次機関として必要に応じて連携して通学路の交通安全対策及び安全点検等を実施していくこととしています。</p> <p>教育委員会としましては、学校長と連携して、通学路の情報収集に努め、同プログラムにより関係機関と連携して通学路の安全確保に取り組んでまいりたいと考えておりますので、まずは学校に相談・連絡いただきますようお願いいたします。</p>	教育部長	③検討	文書回答の内容のとおりです。
7	東本梅町自治会	水路などの改修・復旧について ① 市道東大谷宮川線側溝の流末水路の整備を要望します。 ② 毎年のように台風や大雨等で水路が溢れ、住宅が床下浸水する被害が出ています。水路の改修工事を要望します。 ③ 赤熊区内を流れる音羽川の上流に石観音堂の左岸が崩れ、通行に危険があるため、早急な対応をお願いします。	<p>① 市道東大谷宮川線側溝の流末水路の整備につきましては、市内の要望事項との優先順位を踏まえ検討して参りたいと考えております。</p> <p>② 中野南垣内16番地先の浸水被害を低減させるため、本年度から2年計画で排水路改修を実施します。本年度につきましては、市道東大谷宮川線を横断している管渠区間を改修することで、現在、工事発注に向けて準備を進めております。</p> <p>③ 音羽川の護岸復旧につきましては、現在護岸が崩れ通行に危険となります左岸側約30mの区間につきまして、本年度、護岸の復旧工事を行います。現在、工事発注に向けまして進めております。</p>	まちづくり推進部事業担当部長	①:③検討 ②:②実施予定 ③:①実施	<p>①文書回答のとおりです。</p> <p>②令和3年3月末までに対応いたします。</p> <p>③令和3年1月29日に完成しました。</p>